

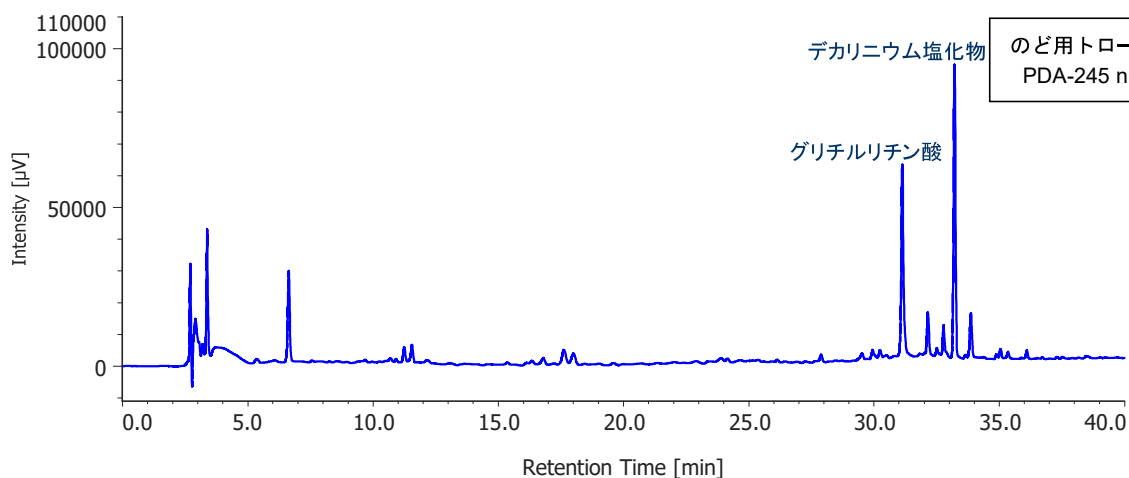
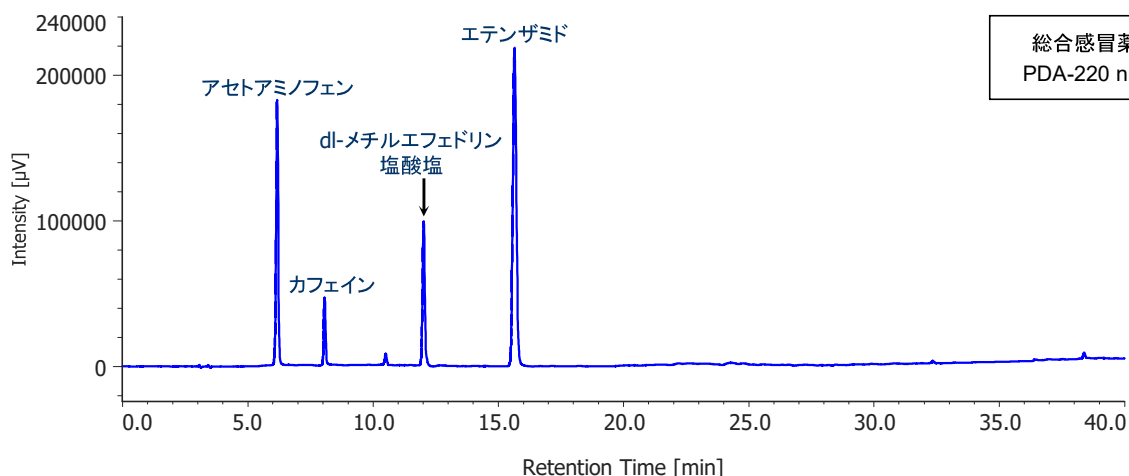
塩基性化合物の測定に適したWrapsil C18-Lによる 風邪薬成分の一斉分析

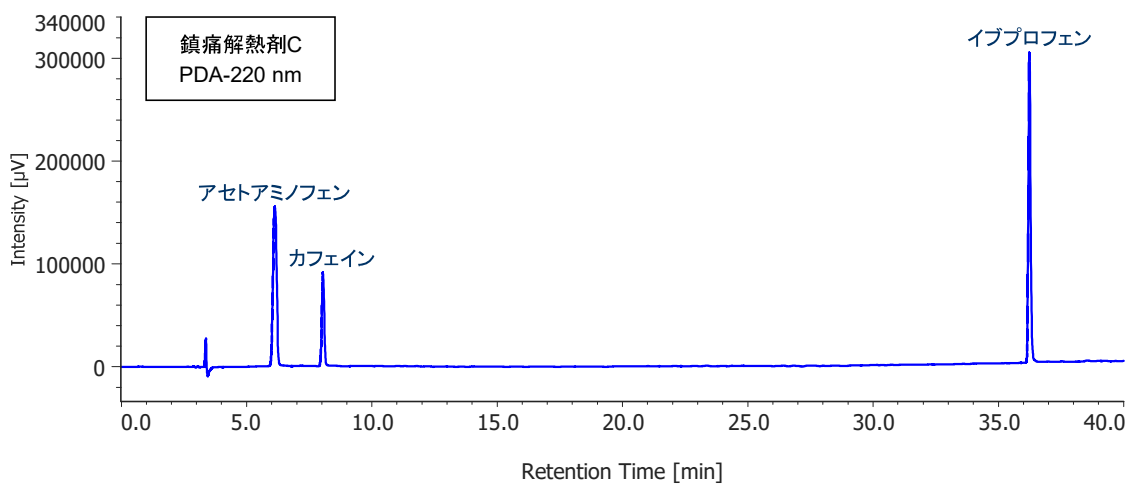
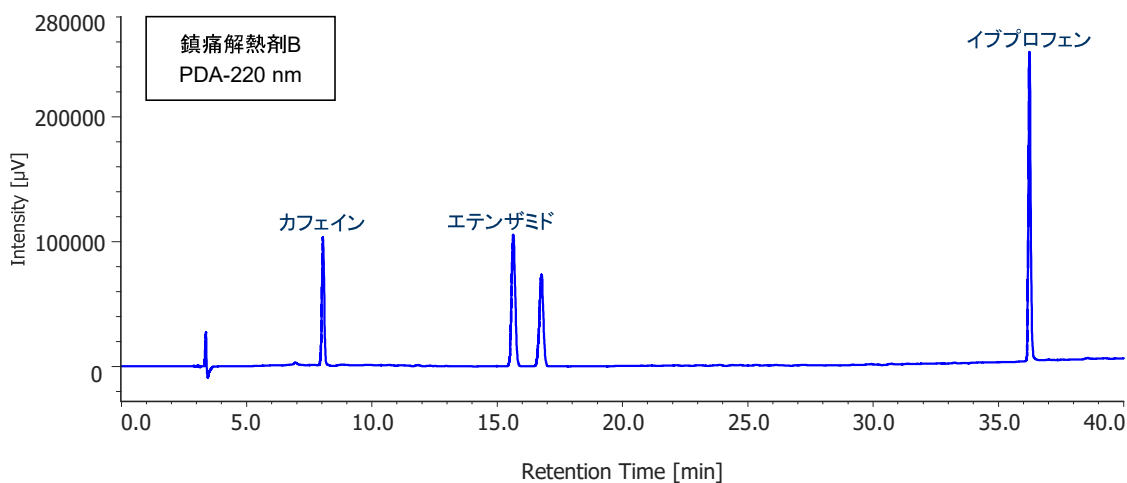
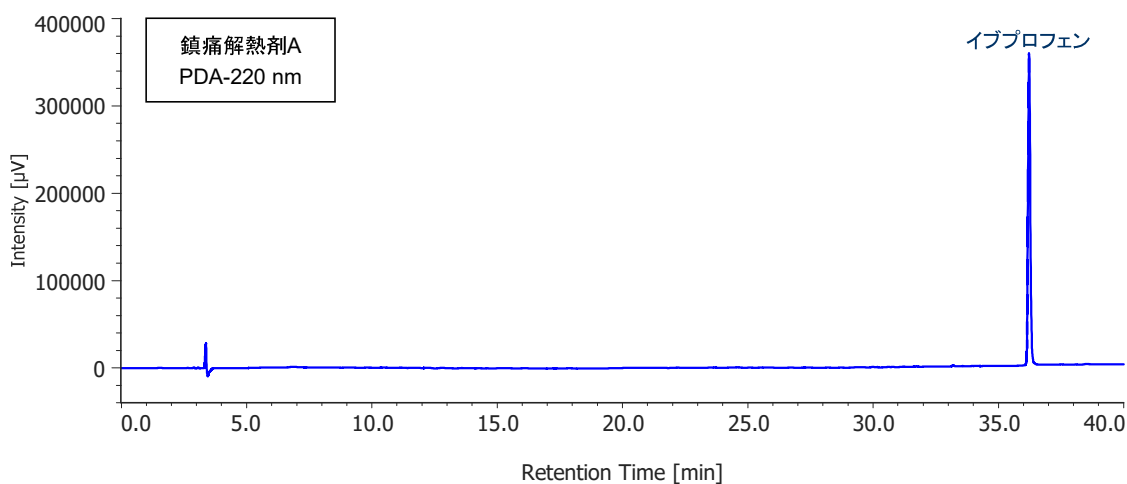
＜測定条件＞	
カラム	J-Pak Wrapsil C18-L (4.6 mm I.D. × 250 mmL, 5 μm)
検出	PDA-200~400 nm
グラジエント溶離法	
移動相A	0.15 M 過塩素酸ナトリウム水溶液 (pH 2.5, 過塩素酸にて調整)
移動相B	アセトニトリル
流量	1.0 mL/min
カラム温度	40 °C
測定試料	市販風邪薬抽出液 5点

＜グラジエント条件＞

Time [min]	A (%)	B (%)
0.0	90	10
7.5	75	25
15.0	75	25
25.0	60	40
35.0	20	80
45.0	20	80
45.1	90	10

注入間隔 ; 60 min





Keyword ; 風邪薬成分, Wrapsil C18-L, C18カラム, PDA検出器, アセトアミノフェン, カフェイン, dl-メチルエフェドリン塩酸塩, エテンザミド, グリチルリチン酸, デカリニウム塩化物, イブプロフェン, 解熱鎮痛剤, のど用トローチ, 総合感冒薬